



# うわじま 市議会だより

令和5年  
(2023)

第73号

12月1日



宇和島百景～天赦園の冬～

## 12月定例会の日程

(12月)

- 5日 本会議 (開会、理事者提案説明)
- 13日 本会議 (一般質問)
- 14日 本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 18日 委員会 (産建教育委員会)
- 19日 委員会 (総務環境委員会)
- 20日 委員会 (厚生委員会)
- 22日 本会議 (委員長報告、質疑・討論・採決、閉会)

## 新宇和島市議会構成決まる 議長に松本孔議員が就任 副議長に相山三也議員

### もくじ

- 就任あいさつ ..... 2
- 議会構成・広域等団体名簿 ..... 3
- 定例会議決結果一覧表・賛否一覧表・人事の同意 ... 4～7
- 一般質問 ..... 8～16

# 議長に松本孔議員が就任

## 副議長に梶山三也議員

### 就任御挨拶

平素より、市議会に対し、御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、このたび、令和5年9月27日に開催された宇和島市議会定例会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となり、人流はコロナ禍以前の日常に戻りつつありますが、エネルギーや原材料の価格高騰、田安の影響などにより、市民生活や経済活動は依然として改善の兆しが見えていません。

私たちの任期も折り返しを過ぎたところであり、宇

和島市議会として、直面する諸課題に取り組むことはもちろん、議員定数や歳費につきましても真正面から取り組み、結論を出していきたいと考える所存でございます。

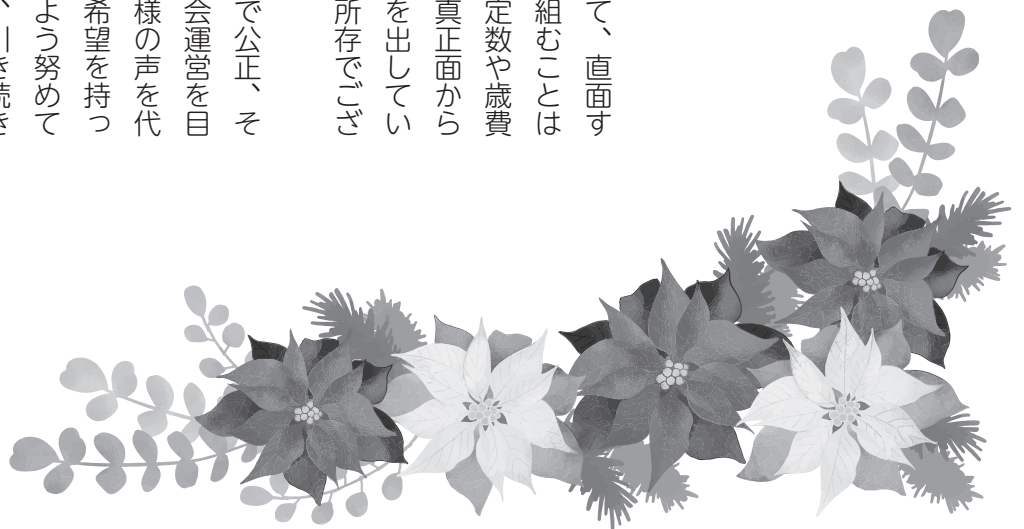
最後に、透明で公正、そして効率的な議会運営を目指し、市民の皆様の声を代弁すると共に、希望を持っていただけますよう努めてまいりますので、引き続き市民の皆様の御意見を頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。



副議長  
梶山 三也



議長  
松本 孔



議 会 構 成			
議 長：松本 孔		副 議 長：梶山 三也	
委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務環境委員会 (8名)	佐々木宣夫	清家 康生	榎野 洋子
			梶山 三也
			中平 政志
			兵頭 司博
			我妻 正三
			福本 義和
厚生委員会 (8名)	山瀬 忠弘	吉川 優子	畠山 博文
			浅田 美幸
			川口 晴代
			三曳 重郎
			石崎 大樹
			坂尾 眞
産建教育委員会 (8名)	浅野 修一	田中 秀忠	山本 定彦
			武田 元介
			赤松 孝寛
			上田 富久
			松本 孔
			泉 雄二
議会運営委員会	畠山 博文	浅田 美幸	吉川 優子
			中平 政志
			武田 元介
			浅野 修一
			福本 義和

### 広域等団体議員名簿

広域事務組合 (8名)	榎野 洋子	田中 秀忠	武田 元介
	三曳 重郎	兵頭 司博	清家 康生
	松本 孔	泉 雄二	
南予水道企業団 (5名)	山本 定彦	佐々木宣夫	川口 晴代
	赤松 孝寛	松本 孔	
津島水道企業団 (5名)	兵頭 司博	石崎 大樹	松本 孔
	福本 義和	泉 雄二	
監 査 委 員 (1名)	石崎 大樹		

令和5年9月第92回宇和島市議会 定例会 議決結果一覧表

番 号	件 名	議決結果
宇監報告第8号	令和5年6月例月出納検査の結果について	即日受理
宇監報告第9号	令和5年7月例月出納検査の結果について	即日受理
宇監報告第10号	令和4年度宇和島市一般会計及び特別会計歳入歳出決算審査意見書の提出について	即日受理
宇監報告第11号	令和4年度宇和島市公営企業会計決算審査意見書の提出について	即日受理
宇監報告第12号	令和4年度宇和島市健全化判断比率及び宇和島市資金不足比率審査意見書の提出について	即日受理
報告 第13号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率	即日受理
報告 第14号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率	即日受理
報告 第15号	専決処分した事件の報告について	即日受理
専決 第9号	車両物損事故の和解について	即日受理
専決 第10号	車両物損事故の和解について	即日受理
専決 第11号	損害賠償の額の決定について	即日受理
専決 第12号	物損事故の和解について	即日受理
専決 第13号	市有施設における事故の和解について	即日受理
専決 第14号	物損事故の和解について	即日受理
専決 第15号	損害賠償の額の決定について	即日受理
議案 第66号	宇和島市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第67号	宇和島市印鑑条例及び宇和島市手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第68号	宇和島市執行機関の附属機関設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第69号	宇和島市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第70号	宇和島市こども支援教室設置条例	原案可決
議案 第71号	宇和島市発達・教育等支援施設条例	原案可決
議案 第72号	宇和島市発達支援センター設置条例	原案可決
議案 第73号	宇和島市障害児等通所支援事業施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第74号	宇和島市空家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案 第75号	令和5年度宇和島市一般会計補正予算（第4号）	修正可決
	令和5年度宇和島市一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議（提出者：浅野 修一）	即日否決
	令和5年度宇和島市一般会計補正予算（第4号）に対する修正動議（提出者：上田 富久）	即日可決
議案 第76号	令和5年度宇和島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案 第77号	令和5年度宇和島市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決

定例会議決結果一覧表

議案第78号	令和5年度宇和島市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第79号	令和4年度宇和島市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第80号	令和4年度宇和島市水道事業会計その他未処分利益剰余金変動額の処分について	原案可決
議案第81号	財産の取得について	原案可決
議案第82号	財産の取得について	原案可決
議案第83号	工事請負契約について	原案可決
議案第84号	工事請負契約について	原案可決
議案第85号	工事請負契約について	原案可決
議案第86号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第87号	宇和島地区広域事務組合規約の変更について	原案可決
議案第88号	宇和島市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第89号	宇和島市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第90号	宇和島市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第91号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第92号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第93号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第94号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第95号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第96号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第97号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第98号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第99号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第100号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第101号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第102号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第103号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第104号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第105号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第106号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第107号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第108号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意

定例会議決結果一覧表

議案第109号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第110号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第111号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第112号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第113号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第114号	宇和島市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第115号	宇和島市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第116号	宇和島市懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第117号	宇和島市懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第118号	宇和島市懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第119号	宇和島市懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第120号	宇和島市懲戒審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
議案第121号	宇和島市監査委員の選任につき同意を求めることについて	即日同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
選挙第1号	宇和島市議会議長の選挙	即日当選
選挙第2号	宇和島市議会副議長の選挙	即日当選
	宇和島市議会常任委員会委員の選任について	指名推選
	宇和島市議会議会運営委員会委員の選任について	指名推選
選挙第3号	宇和島地区広域事務組合議会議員の補欠選挙	即日当選
選挙第4号	南予水道企業団議会議員の補欠選挙	即日当選
選挙第5号	津島水道企業団議会議員の補欠選挙	即日当選
認定第1号	令和4年度宇和島市一般会計及び特別会計決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第2号	令和4年度宇和島市公営企業会計決算の認定について	閉会中の継続審査
	令和4年度宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会委員の選任について	指名推選
	令和4年度宇和島市公営企業会計決算審査特別委員会委員の選任について	指名推選

請願・陳情（新規審査分）

番号	件名	議決結果
陳情第10号	直接請求制度における地方自治法第74条の2第2項を遵守する陳情書	不採択
陳情第11号	タウンミーティングにおける暴言・暴力防止を求める陳情書	不採択

## 議員別 賛否一覧表

※下表には議案等について、賛成、反対の双方があった議案のみ表示しています。

議員名 議案等	市民クラブみずほ									創政会			公明党		あゆみ		with市民		山本定彦	賛成 合計	反対 合計	退席 合計	議決結果					
	石崎大樹議長	福本義和	佐々木宣夫	梶山三也	川口晴代	中平政志	武田元介	三冨重郎	清家康生	上田富久	泉雄二	山瀬忠弘	田中秀忠	浅田美幸	赤松孝寛	松本博文	島山正三	我妻司博							兵頭優子	吉川優真	坂尾洋子	榎野修一
(提出者:浅野修一) 議案第75号	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	5	18	0	否決	
(提出者:上田富久) 議案第75号	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	15	8	0	可決
陳情第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	20	3	0	不採択
陳情第11号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	20	3	0	不採択

(○:賛成 ×:反対 退:退席)

※石崎大樹議員は議長のため採決に加わっておりません。

※議案第75号については、修正案が2案提出され、修正部分の採決と修正部分を除く原案についての採決を行っています。修正部分を除く原案については全会一致で可決しています。

※陳情第10号及び陳情第11号について、総務環境委員長報告ではともに不採択であり、不採択とする事に賛成する者は○、反対する者は×、と表示しています。

### 人事の同意

9月定例会において、市長から人事案件が提案された。次の方が選任されました。

●宇和島市固定資産評価審査委員会委員

江口朋宏  
藤井博史  
大西園恵

●宇和島市農業委員会委員

大島博雅  
大塚武司  
清水千明

末光儀三郎

谷本宏明

中山美千代

山口一也

山本光

和田一也

和邊与志樹

渡邊与志樹

井上悠一

加賀洋介  
門脇忠男  
鎌田吉太郎  
酒井栄治  
高木伯志  
武内英二  
兵頭立士

堀田善春  
松浦良規  
宮河宣仁  
若藤寿治  
早稻田孝

●宇和島市教育委員会委員

中島玲子

●宇和島市懲戒審査委員会委員

中村大輔  
清水峰子  
山下重子  
山徳重子  
楠憲雄  
森田孝嗣

●人権擁護委員

河野文香

●宇和島市監査委員

石崎大樹





創政会

山瀬 忠弘

危機管理体制について

【質問】

道路整備をはじめとするインフラ整備が重要となる。道路拡張や、高速道路の早期開通、延長できれば命を守る道路になるのではないか。

【答弁…市長】

平成30年7月豪雨災害において、56号線が土砂災害で寸断され、物資をどのように運んでいくのかという中で、活躍したのは高速道路でした。高速道路も若干被害はありましたが、その日のうちに道路啓開を済ませ、自衛隊の隊員の皆さん、そして必要な物資をこの地域に送ってくださる、そういった大きな役割を果たしていたいただきました。

この道路の重要性、つまり命の道として整備をしていかなければならないと考

えていますので、これまでに以上を力を入れていきたいと考えています。

【質問】

津波対策の護岸整備も大切だが、しゅんせつ工事など、港湾の整備も本市にとつては最重要課題だと思つ。市長の所見を問う。

【答弁…市長】

津波への防災対策も大変重要であると考えています。日常から使う護岸等を含めた安全で利用しやすい護岸施設を構築していくことは大変重要であると考えています。

【質問】

宇和島市津波緊急避難路等整備事業補助金について問う。

【答弁…危機管理課長】

津波緊急避難路等整備事業補助金については、自治会が行う指定避難路の整備と維持管理に要する経費に対する補助金として、平成27年度から市単独事業として実施しているものです。

愛媛県が、夜間津波避難対策補助金により市町が実

施する事業の2分の1、上限100万円の補助金が創設されました。

「選ばれるまちへ」について

【質問】

きさいや広場のトイレと城山下駐車場の公衆トイレについて、早急に改修を求めらる。

【答弁…産業経済部長】

きさいや広場のトイレについては、設備等の経年劣化が進んでいることは承知しています。

市の顔となる施設ですので、利用者からのニーズ等を踏まえ、市と指定管理者において、施設の更新、改修など検討してまいります。

【質問】

今後のうわじま牛鬼まつりの在り方について問う。

【答弁…市長】

来場者や、演者の数、祭り自体のにぎわいにも少し注力をしていかなければならないだろうと思つています。アンケートの結果を踏まえ、実行委員会、そして検討委員会で協議をしていくところです。いずれ

にしましても南予の祭り、顔としての祭りですので、しっかりと検討していきたいと思つています。

【質問】

昨年度から始めている出産、子育て応援事業について問う。

【答弁…保険健康課長】

妊娠期から出産、子育てまで様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施するため、国において創設された事業です。

伴走型相談支援については、妊娠届出時や妊娠8か月、乳児家庭全戸訪問時に助産師や保健師、管理栄養士が、それぞれの状況に応じた相談支援を行います。経済的支援については、妊娠届出時に妊婦1人につき5万円の出産応援ギフトを、出産後の乳児家庭全戸訪問時に子ども1人につき5万円の子育て応援ギフトを支給しています。

立地の活用方法を問う。

【答弁…建設部長】

愛媛県が施工している榑崎大橋建設工事については、令和7年度中の供用開始を目標に進めていると伺つています。

【答弁…産業経済部長】

埋立地については、港湾関連の産業用地として活用を図るため、民間事業者へ売却することとしています。スケジュールについては、令和6年度のできるだけ早いタイミングで売却するよう準備を進めているところです。

【意見】

生まれは宇和島で小学生低学年の頃まで大浦2区に住んでいて、現在、横浜やアメリカのサンディエゴなどで活躍されている芸術家であるロコサトシさんに宇和島市水産物荷さばき施設の駐車場の防音壁や隣接する公園、また通学路の安全確保のための作品などをお願いしたらよいのではないかと。

各種事業の進捗状況について

【質問】

榑崎大橋の進捗状況と埋



市民クラブみずほ

上田 富久

### 医療の2024年問題について

【質問】

医療業界では医師、看護師等、慢性的な人手不足が続き、1人当たりの負担が増え、過重労働により医療業界が敬遠される事態となっており、労働環境の改善が急務となっている。その上、宇和島圏域においては急激な少子高齢化、人口減少が進んでおり、担い手不足が深刻な問題となっている。本市は3つの病院を有しているが、この医療体制を抜本的に考え直す必要があると思うのだがどうか。

【答弁：病院事業管理者】

今後の医療体制については、限られた医療人材を有効活用しつつ、市立3病院のみならず、地域の医療機関が相互に連携し、市民が必要とする医療を提供することができるシステムの構築が必要であると考えています。

医療を取り巻く環境は人

手不足ということを含めまして、引き続き厳しい状況が続くと思われませんが、市立3病院においては、合併時に位置づけた各病院の役割を尊重し、地域医療支援病院であります宇和島病院を中心に役割、機能をブラッシュアップしながら、よりよい医療の提供に努めたいと考えています。

### 教育行政について

【質問】

部活動の地域移行について、この件は先生方の働き方改革の一環で、中学校の部活動を地域に移行する計画だが、都会と地方、また、県内でも東中予と南予というように、地域で格差があることは否めない。部活動の地域移行への進捗状況を問う。

【答弁：教育部長】

現時点においては、検討委員会の設置を準備している段階です。なお、愛媛県教育委員会の部活動地域移行の愛媛県版ガイドラインがあります。これは現在、策定に向けて検討段階と聞いています。

先進地等の事例を参考に

しながら、本市において、検討委員会を今年度中に設置をしたいと考えています。

【質問】

今後、どのように部活動の地域移行を考えているか。

【答弁：教育部長】

受皿や人材確保の面で難しいということも背景となっており、愛媛県教育委員会は令和7年度末までに各市町で最低でも1種類の地域移行を目指してほしいとの見解を示しているということも踏まえ、検討委員会を立ち上げ、本市の実情に合った在り方を検討し、実施に向けた準備を進めたいと考えています。

【質問】

給食費の徴収方法について、会計管理を導入している自治体は35%、準備、検討中が30%、導入を予定していないが35%という結果になっており、給食費徴収など、学校任せの自治体がある。本市の状況について問う。

【答弁：教育部長】

令和6年4月から学校給食費を本市の予算に計上し、徴収と管理を行う、い

わゆる公会計方式に移行します。

公会計方式とは、従来教員が担ってきた学校給食費の保護者に対する請求及び徴収、給食費の未納督促、津島地区自校式給食調理場実施校における食料費の支払いに関する業務について、全て本市が行うこととなります。このことにより、学校給食費の徴収及び管理における教職員の業務負担を軽減することができ、一層の学校教育の質の向上を図ることができると考えています。

【質問】

旧市立図書館を児童・生徒の活動の場、ホリバタとして開放している。そのホリバタを活用している児童・生徒で生徒会のようなものを設置し、企画、運営から参加できないのかという子どもたちからの意見がある。

現在、ホリバタの企画、運営はどのようにされているのか。また、このような生徒からの自主的な意見をどう思われるのか。

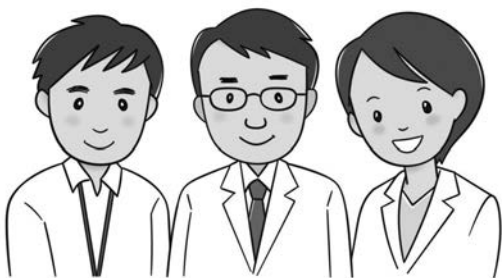
【答弁：教育部長】

市内6校の中学校の生徒会が合同でホリバタで生徒会としての活動を、生徒会

担当の先生の御指導も伺いながら活動していると聞いています。たちまちの問題として、どういったことに取り組んでいくのかと、そのような議論が今交わされているという報告を受けています。

### その他の質問事項

◆予土線の存続について



市民クラブみずほ

武田 元介

### 人口減少対策について（子育て支援）

【質問】

小・中学校の給食費の支援拡大について問う。

【答弁：市長】

現在、子育て世帯を対象に、給食費負担軽減事業、1食当たり100円補助を実施しています。

慎重に判断していかなければならないと考えており、現在は計画していません。

【質問】

給食費の無償化にいくらかかるか。

【答弁：教育部長】

生活扶助や就学援助費から賄われる世帯を除いて試算をしたところ、概算で約1億7,000万必要となります。

【質問】

医療費の無償化を18歳まで拡大する考えはないか。

【答弁：市長】

18歳までの医療費無償化については、本来国が画一的にやるべきだと、確信を述べているところです。

15歳まで、中学校3年生までの医療費の無償化が今年3年目に入ったところです。財政負担等々の動きを見てしっかりと検討しながら、しかるべきタイミングで判断していくべきものだと考えています。

【質問】

無償化を18歳まで拡大したときにいくらかかるか。

【答弁：保健福祉部長】

現行の子ども医療費の実績等による試算ですが、対象を18歳まで拡大した場合の影響額は、現時点で約4,100万円と試算をしています。

### 都市再生整備計画の評価と定量化した指標について

【質問】

バスセンター前から中央公園までの道路は同計画第1期の高質空間形成施設「市道美装化」の対象である。その管理はどうかあるべきか。

【答弁：建設部長】

当該路線については、都市の景観や環境への配慮から、街路樹を含む緑地帯があり、業者委託の上、剪定、除草、点検等を実施していますが、一部箇所について

は、委託範囲に入っていないこともあり、管理が行き届いていないとの声もいただいています。

【質問】

今後は、可能な限り業務委託の範囲に含めたり、日常的な見回りを増やすなど、管理体制を強化して、良好な景観維持に努めたいと考えています。

【質問】

道路の管理を行政で何とかして欲しいという声が地元から上がる要因は何か。

【答弁：市長】

人口減少の中で、それをやる、そういった人もいない、それをやるだけの時間がない、そういったことも考えられるかと思えます。

【質問】

あけぼの園の支援満足度90%に上げるための具体的計画はあるのか。

【答弁：保健福祉部長】

この指標は、あけぼの園が毎年実施している保護者アンケートの令和元年度の満足度を採用しています。令和4年度で既に94%という結果が出ており、施設の利用者からは高い評価を得ております。

【質問】

建物が替わらなくても、満足度は上げられる。建

替が必要ないとは言われないが、満足度を上げるためには、ソフトパワー、既存の建物のリスフ、危険な部分、不満の出ている部分に細かく対応していくことである。3つの施設が複合されることによつて、どういう効果を上げようとしているか。

【答弁：教育部長】

発達支援センターのほうには現職の教員を指導主事として常駐させることにしており、これまで学校・わかたけ、それぞれいろんな事情を抱えた児童・生徒について、相談の窓口であったり、対応するための専門的な知識であったり技術をもちである方々が集約されたセンターになっていますので、ソフト面でも一定の効果は期待できると考えています。

### 都市再生整備計画の今後について

【質問】

畑枝川・大池川の明渠化について今後の計画を問う。

【答弁：建設部長】

畑枝川については、第2期計画で現在実施中の区画が完了後、第3期計画にて、

さらに下流側の恵美須町のフジ宇和島店までの区画を同様の形で整備していきたいと考えています。

また、国道56号をまたいだ畑枝川のさらに下流側で、市役所までの区画及びJR宇和島駅から南予地方局までの大池川の暗渠についても、解消したいとの考えは当然持っているところです。

しかしながら、現時点では、財源をどのように確保していくか、どのようなテーマを持って整備を実施していくか、具体的な方針についてはまだ定まっていない段階ですので、整備手法などについて、引き続き検討していきたいと考えています。

【質問】

国の防災・安全交付金の利用を考え、整備を進めてほしいがどうか。

【答弁：建設部長】

提案された事業スキームも含めて、前向きに検討していきたいと思えます。

### その他の質問事項

◆中国の水産物輸入停止の影響を問う

◆医師の働き方改革への対応について問う

With 市民

坂尾 眞

## インボイス制度の実施と核汚染水の海洋放出について

【質問】

中小零細業者や今の米農家、酪農家、フリーランスや宅配業者など、所得税が払えない弱い立場の人を狙い撃ちにして消費税を取り、そして1兆円の増税と一層の物価高を招くのがインボイス制度だと私は考える。各種団体、個人が36万人の署名を集めて、インボイス制度の導入反対・延期を求めている。

来月10月から実施されるインボイス制度について、市長の所見を問う。

【答弁…市長】

インボイス制度の実施により、事業者の事務負担は多くなつてきます。

まだまだ制度が十分認識されていないことから、国等から集中的に周知が図られていると聞いています。

また、大変複雑な制度ですので、相談等に対しては、丁寧に対応していただきた

いと考えています。

【質問】

岸田政権が東京電力福島第一原発の核汚染水の海洋放出を実行し、水産業に大きな影響がでることが危惧される。

地元業者に与える影響について問う。

【答弁…産業経済部長】

聞き取り調査によると、地域の水産業については、現段階で大きな影響は見られていないと伺っています。しかし、長期化しますと、いろいろな問題が生じる可能性がありますが、動向を注視する必要がありますと考えています。

## こども支援の拡充について

【質問】

今、子育て世代の方々が増えている貧困化の中で、市の子育て支援策は十分ではなく、経済的な支援をもっと積極的に打つべきである。

学校給食の無償化について、市長の所見を問う。

【答弁…市長】

財政的な課題をしっかりと検討しなければならぬと

ところで、給食費については、今、医療費ほどは広がりを見せていないと認識しています。現在1000円の補助はしており、次に何ができるかを今後、注視していきたいと思っています。

【質問】

生理用品を中学校のトイレの共用部分に一つ設置する費用は、概算で1校当たり約10万円とのことである。生理用品の設置について、市長の所見を問う。

【答弁…市長】

災害時においては、頂いた生理用品はしかるべきところに配布をしてきました。

議員が言われる生理用品を学校に常設することについては、これから前向きに検討していきたいと思えます。

【質問】

錦町の市営駐輪場については、場所が河川の床版上であるので屋根の設置はできず、駐輪場の場所を近隣地に移設させる旨の市長答弁があったと記憶している。その後、どのような形でいるのか報告を求めている。

【答弁…建設部長】

当該駐輪場は、市管理河川の畑枝川の床版上に設置

しており、安全性を備えた構造の屋根を設置することは、河川管理上認められていません。

市では現在、自転車活用推進法に基づき、歩行者と自転車利用者にとって安全・安心・快適かつ連続して走行できる利用空間を整備することを目的とした、自転車活用推進計画を策定中です。

この計画の中で、ハード整備とソフト施策を盛り込むこととしており、ハード整備の一つとして、屋根付き駐輪場の整備を検討しています。

【質問】

現在、当該駐輪場については約200人の生徒が利用しており、雨の日にはヘルメットが籠の中でびしょ濡れになっているのを見かける。

駐輪場の整備について、市長の考えを問う。

【答弁…市長】

新型コロナウイルス対策のため、自転車活用推進計画の策定委員会を開催することがままならなかったことで、当該計画の策定が遅れています。

ただ一方では、ヘルメットが雨ざらしになっている

ことは、私も横を通るときに同じように感じているところですので、計画を策定して、できることをやっていかなければならないと考えています。

## その他の質問事項

- ◆市の財政状況について
- ◆伊達博物館改築について
- ◆同和対策について



無党派

山本 定彦

### 本市の医療行政について

【質問】

民営化の可能性はあるか。

【答弁：市長】

病院局の所管する3病院については民営化は想定していません。

【質問】

西予市ではつくし苑は併設型だが、本市の老健施設についてはどうか。

【答弁：市長】

非常に経営は厳しいですがいわゆる弱者の方々の施設としても活用されていることは事実ですので、これから丁寧に問題解決に向けて議論をしていきたい、今そういった状況です。

### 漁業・農業原材料燃料費高騰対策及び中国の水産物禁輸による本市の影響と対策について

【質問】

本市の有機栽培の面積、

取組農家数と、今後のみどりの食料システム戦略と連動した本市の有機農業の推進について問う。

【答弁：産業経済部長】

2020年の農業センサスによれば、本市の有機栽培の取組面積は水稲、野菜、果樹等を合わせて73ヘクタール、取組農家の数は83となっております。今年度に補助事業を活用して有機農業に取り組む農家は4経営体で、面積は約7・5ヘクタールとなっております。有機農業は栽培管理に手間がかかり人手がかかること、収量や品質を安定させる技術が必要であることなどから、作業効率の悪い傾斜した農地が多く、農業従事者の減少、高齢化が進む本市では普及が進んでいないのが現状ですが、これからの農業は化学肥料や農薬の使用を抑え、環境負荷の軽減に配慮した持続可能な農業を展開していくことが重要で、有機農業にチャレンジしている農業者の皆様への支援を通じ、取組を少しずつ拡大していきたいと考えています。

### 新型コロナウイルスとXBB対応ワクチンについて

【質問】

新型コロナウイルスの病原体の存在を証明した書類、病原体に対して有効なワクチンの存在を示した書類、mRNAワクチンの子どもに対する中長期の安全性を証明した書類は存在するのか。

【答弁：保健福祉部長】

新型コロナウイルスの病原体の存在を証明した書類について、全ての調査、研究を把握していませんが、確認した範囲でいわれるような書類は確認できていません。病原体に対して有効なワクチンの存在を示した書類については国内外において様々な研究がなされており、その中で発症や重症化を防ぐ効果があるとした研究があるとの認識です。ワクチンの子どもに対する中長期の安全性を証明した書類については小児へのワクチン接種が令和4年3月から開始されたこともあり、現時点でそのような書類は存在していないと認識しています。

【質問】

頻回接種によってIgG4が出てくること、IgG4抗体についての見解を問う。

【答弁：病院事業管理者】

論文が発表されたことで注意すべきとは考えていますが、IgG4がワクチン接種で増え、免疫関与を引き起こす可能性があるという厚生省からの注意喚起については現時点では確認できていません。今後もガイドラインを含め、厚生労働省からの通知を注意してまいります。

### 市有林の有効活用を

【質問】

新伊達博物館に藩造林(国有林)の木を活用することは一つの試みとしてよいのではないかと思う。こういった機会に本市の歴史とともに育った木を伐採し、活用することは有意義ではないだろうか。さらには市の公共事業などで市有林や財産区での木材の活用を考えられないか。

【答弁：保健福祉部長】

新伊達博物館の藩造林のような特定の木を少量使用

する場合はそれほど難しくないと考えますが、相当量の利用となると、まずは現地において必要な量が確保でき搬出が比較的容易であることが前提となります。加えて、市場からの調達ではないので工事資材としての品質や規格、強度の確認などを個別に行う必要も生じます。これに加えて実際の施工に際しては、伐採後の製材、乾燥の実施、保管場所や引渡時期の調整などの問題があり、かなりハードルは高いのではないかと考えています。これらを勘案しますと、市有林を管理していく上では、市場への売却が適切ではないかと考えています。

### その他の質問事項

◆海洋ごみの処分対応について

◆空き家対策の推進について



公明党

畠山 博文

## 防災・減災対策について

【質問】

自力で避難することが難しい高齢者や障がい者の方などを対象に、いつ、どこへ、誰と、どういう方法で避難するのかをあらかじめ決めておく個別避難計画の策定推進について、7月31日付の愛媛新聞に、本市の要支援者の個別避難計画策定率が7%という記事が掲載されていた。

策定率の向上について、上がらない理由や今後の取組などについて問う。

【答弁：保健福祉部長】

策定率については、その分母となる避難行動要支援者の選定方法が各市町の実情に応じて異なり、独居高齢者と障がい者を重点的に選定した市町やハザードマップ上の危険区域を重点的に選定した市町など、独自に選定しているため、策定率にばらつきが出ているものと思われます。本市では、分母となる避

難行動要支援者として、他市町と比べて幅広く選定しており、本年5月1日現在で3,541人を対象としています。このうち、個別避難計画を策定しているのは247人で、策定率は約7%となっていますが、策定率が向上しない理由としては、要支援者の既往歴や障がいといった個人情報を取り扱うことから、同意書の取得が必要となり、その取得率が名簿登録者の24%にとどまっていることも要因の一つと考えています。

計画の策定を加速させるため、今年度から特に優先度の高い要支援者の方が利用し、あらかじめ個人情報把握している介護事業所のケアマネジャー等に計画策定を委託する取組を始めていまして、既に委託している防災士連絡会と併せて、計画的にスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。

## AEDについて

【質問】

AEDボックスに胸部を覆う三角巾について、心臓

が止まった人の救命に欠かせないAED、救急車が到着する前に、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とともに言えば、何もしない場合よりも救命率が4倍上がるとされている。しかし、AEDはパッドを素肌貼る必要があるため、倒れた人が女性だったら、ためらうという声もある。

実際に倒れた方が女性だったために、AEDが使用されず、重い脳障害が残ったケースも起きているそうである。そうした女性に低い使用率を改善したいとの思いから、課題を解決しようという動きが広がっている。

その1つが女性の傷病者の肌にAEDのパッドを張り付ける際、三角巾をかぶせ、胸部や素肌が見えないようにする方法で、現在AEDボックスに三角巾を配備する自治体が増えている。本市において、導入の検討は行わないのか。

【答弁：保健福祉部長】

緊急時のAED使用に当たり、女性にも配慮してその使用率を上げていくことは、命に関わる問題であり、三角巾等の導入や設置は、その解決の一助になるもの

と考えます。

本市においても、導入施設や方法、内容などについて検討したいと考えています。

【質問】

緊急時、何より大事なのは、1秒でも早くAEDを使つこと、男女を問わずAEDが使われるべき人に使われ、1人でも多くの命が救われるためのAEDの設置だと思つう。

本市のAEDのマップとして、伊達なうわじま安心ナビの防災モードからマップしていくと、AEDの場所が掲載されるが、ここに掲載されている以外のAEDがあるのか、また、民間設置のものや学校設置のもの、申請制度のため、マップに掲載されていないものなどがあるのか、さらに、そうしたところを交渉していく上で、こうしたAEDが市のAEDマップに反映できないのか問う。

【答弁：保健福祉部長】

伊達なうわじま安心ナビの防災モードには、AEDが135か所掲載されています。主に市有施設をはじめ市が把握している施設等について登録していません。

なお、掲載情報以外にも民間事業者が独自でAEDを設置している場合があり、インターネット上でAEDマップとして公開されているものも幾つかありますが、それぞれが全ての情報を反映しているかといったことは把握できていません。

複数のマップが存在するため、どのマップを確認すればよいのか分からないといった事態も想定されるので、伊達なうわじま安心ナビ等への登録について、理解や協力を求めることにより、施設を追加し、市民に分かりやすい情報発信となるよう検討していきます。

## その他の質問事項

- ◆子ども若者議会について
- ◆自転車用ヘルメット購入費の助成について
- ◆各種ワクチン接種費の助成について
- ◆商品中古軽自動車の軽自動車税について
- ◆有権者が安心して投票できる環境整備を

榎野 洋子

伊達博物館改築事業について

【質問】

市道改良工事はなぜ今の時期なのか。バス回転場計画が急に出てきたように思う。1年前、伊達家所有の佐伯町、この敷地の周りの細い道路上に縁石が幾つもあった、この縁石に何人も人が挟まったりつまずいたりしてけがをされたり車が乗り上げていることがよく起こっている。危険だからと近隣住民が警察署へ陳情に行かれたと聞いています。警察署員が来て写真を撮り聞き取りはしたけれどもそのままになっていた。危険だから、けがをした人がいるから対処してほしいとの願いはそのままに事故がないのが奇跡な狭い道路上の縁石である。警察より宇和島市に対して指導があったと聞き及んでいく。1年間も放置したのに去る9月8日金曜日に撤去したのはなぜか。過去にそんな事実があったのに今

回、近隣住民からの市道にしてほしいとの声があったのか。

【答弁：建設部長】

今回の市道改良は市の長年の懸案事項解消のために行うもので、令和3年2月に作成した都市再生整備計画の第2期計画策定当初から計画していたものです。令和4年度に物件の補償算定業務及び土地の分筆登記のための公共嘱託登記業務、令和5年度には道路改良設計業務に係る予算を計上し、議会にも御承認いただいています。次に、縁石の陳情の件ですが、この縁石は、市道改良工事に合わせて撤去する予定としていましたが、道路の幅員の狭い一部の箇所に関しては、先日、安全性向上のために先行したところです。

最後に、市道改良についての近隣住民からの声の有無ですが、最初に触れたとおり、近隣住民からの要望というより、市の長年の懸案事項解消のための交差点改良という位置づけです。当箇所は南北方向に位置する市道御殿町並松線に、東側から市道京町1号線が接続する変則的な丁字路となっている交差点です。こ

の市道御殿町並松線は市道としては交通量が多く、地区内の道路というより通過交通の多い重要な幹線と考えています。中でも特に同交差点は見通しが悪い上、近隣の学校の生徒の多くが通行しており自転車との接触の危険性が高く、朝夕のラッシュ時には交通が大変混雑する状態となっております。

なお、宇和島警察署交通課によると、同交差点では交通事故がこの5年間で11件発生しており、付近交差点に比べ交通量に対して事故が多いとお聞きしています。このような状況の中、今回、都市再生整備事業にて有利な財源活用が可能となったことから、交差点西側部分を拡幅し、三方向からの交通の円滑化を図るとともに幅員約3メートルの歩道を整備することにより、歩行者、自転車の安全を確保しようとするものです。

【質問】

伊達博物館事業は採算に乗らない。だから収益は上がらない。建築後は、毎年市民の納税したお金から支払われることになる維持管理費1億7,000万円だ

が、一生支払い続けることになる、負の遺産となると思う。200億円の基金があるから数年は支払われると思うが、人口減少により基金の積み崩しは、いつかはなくなると思う。その後、誰が責任を取るのか。

【答弁：教育部長】

この1億7,000万という数字があくまでも試算値であるということは、8月17日に開催された伊達博物館改築事業に関する会派別説明会で説明をさせていただいています。維持管理費についてはこれまで御説明しているとおり、引き続きコスト意識を持って精査をしていきたいと思えます。

【質問】

事業費はどんどん上がっていく。おおよそ50億円が60億70億と、どこまでも無限に上がっていくことを危惧している。限度額を設けるつもりはあるのか。伊達博物館改築事業10億4千万円の実質負担額の持ち出しもかなり大きい額である。市民の声を聞かずにこのまま押し進めると、ここに住み続けたいと思う人が本当にいなくなる。市民のふろさと宇和島市への思いと市

長の考えに乖離がある。最後に繰り返しになるが一度立ち止まって考え、見直す気持ちはないのか。

【答弁：市長】

今回、議会に上程している債務負担行為の額そのものが、この詳細設計を終了した中での建設工事、そして展示制作に係る費用として、限度額としてお示しています。今後も品質にはしっかりと目を向けながら、コスト感覚をしっかりと持って、これからも丁寧な説明に心がけながら進めていきたいと考えています。

その他の質問事項

◆吉田秋祭りの神幸行事について

◆物価高騰地策について



With 市民

浅野 修一

## 新伊達博物館整備事業に関して

【質問】

2021年6月に行われた第11回建替委員会において、委員から「建替反対の市民が圧倒的に多いと聞いた。」との問いに対し、市長は「私の知る限り、反対の市民が圧倒的に多いという認識はありません。私の周りの方々のご意見とはどう違うのか、また現在もその認識は変わらないか。」

【答弁…市長】

伊達博物館に関わる中で、周辺の方にも反対の方は今でもいますし、一方で、歴史文化に力を入れてほしいという方もいます。その中間で、あまり興味もなく心配はしているという方もいます。そういう意味で、そのような表現をしたと記憶しています。

ただ、何かをするときには、反対、賛成は出てくる

とは認識していませんので、反対される方々にどのような理解していただけるか、努力を続けなければならぬと思っています。

【質問】

新伊達博物館について、広く市民の方々に丁寧に説明することは欠かせないと思うが、現時点でどのように説明されているか。

【答弁…教育部長】

議員の皆様には8月17日の会派別説明会において、実施設計の内容とともに、伊達博物館改築事業の概要資料についてご説明をしました。

この資料のほか、改築に関する様々な情報について、市のホームページに掲載し、どなたでもご覧いただけるようにしています。

さらに、SNS、YouTube動画のほか、本庁、各支所における模型、パネルの巡回展示などを通して、市民の皆様にご覧いただけるよう努めています。

また、9月下旬には宇和島ケーブルテレビにて、分かりやすい内容の放送も予定しています。

【質問】

金沢21世紀美術館を視察

した感想、その視察が今回の計画にどのように活かされているか。

【答弁…教育部長】

先進地視察として、令和元年7月に金沢市に伺いました。

参考とさせていただいたことは、公園で憩い、遊びに来られた人でも建物をご覧いただくことで、中の展示物とも触れ、地域の歴史文化を気軽に感じることができるよう、開放性を高めている点などです。

【質問】

視察の際において、金沢21世紀美術館の維持管理費等をどう受け止めたか。

【答弁…教育部長】

金沢21世紀美術館の視察当時は、基本構想を策定していない段階でしたので、視察の目的は、周辺の景観に対する建物のコンセプトや、文化財を適切に保管するための設備等を知ることでありました。建築費用や維持管理費に関する調査を目的とした視察ではありませんでしたので、維持管理費等に関する視察当時における感想は持ち合わせておりません。

【答弁…市長】

当時のコンセプトを確認

しに行く視察だったように記憶しており、視察の報告書には維持管理費等についての記載はありません。議員が示されたものを見て、今まさに比較をしているという状況です。

【質問】

新伊達博物館の市民一人当たりの負担額は2,200円。身の丈にあったものかどうか。

【答弁…教育部長】

私どもとしては、この地域で暮らしてきた人々が、ここで築き、営々とつないできた歴史、文化、風土などの有形、無形の財産は、それそのものが宇和島を象徴するものであるので、大切にしていきたい考えです。その考えのもと、施設の維持管理費については、施設の設置の目的や理念、事業の内容、効果等を含めて総合的に判断すべきものと思います。

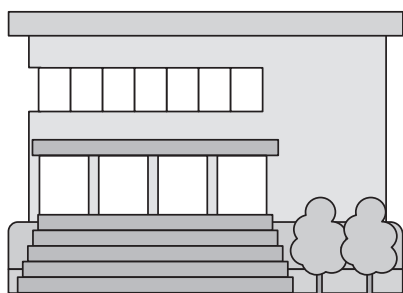
博物館は、知の財産の意味と価値、魅力を市民はもとより国内外に広く発信する施設として、また市民の憩いや交流の場として、シビックプライドを醸成するとともに、定住人口が減ることにもつながる施設である

ると考えています。

【答弁…市長】

身の丈に合っているかどうかは、様々な価値観があります。これらをどのように未来へ確保していくかという役割もありますので、単純に計算し切れないものと思っています。

開館がスタートですので、ハード整備後も、多くの方々を足運んでいただく施設になるように、展示や広報というものを努めていかなければならないと、気持ちを新たにしています。



公明党

松本 孔

### 孤独死について

【質問】  
今、独り住まいの方が増えまして、孤独死が身近になってきた。

孤独死の前に、まず、孤立をしないことが重要であると思つている。本市の現状について問う。

【答弁：高齢者福祉課長】

本市における独居高齢者数は、令和5年4月1日現在で8,739人です。独居高齢者については、地区民生委員が把握ほか見守りを実施し、対象者の転居や施設入所等により対象から外れた場合や、新たな独居高齢者が確認された場合には、独居高齢者異動連絡票により市へ届出を行つていただいています。

本市で発生している孤独死について、高齢者福祉課や保護課で関わりのあった在宅での確認件数は、令和3年度で8件、4年度で4件、今年度は9月1日現在で2件となっております。

【質問】

全国各地で孤独死の防止対策を講じている。多いのは水道、電気など、ライフライン業者と連携を行っている。電力会社、都市ガス、プロパンガス等の業者、また新聞販売店、郵便事業など提携を結びまして、素早く対応ができる体制を取っています。

見守りの形としては、3つあり、見守り支援員等協力員の協力型、2つ目は事業者等との協定締結型、3つ目に、地域で支え合つていくネットワークがある。本市は、1の見守り支援員、3の地域支え合つネットワ

ーク、これには取り組む形が見えるが、2の事業者との協定はまだと思つ。この方法はかなり有効と思つが、どのように考えているか。

【答弁：高齢者福祉課長】

さめ細やかな見守り体制を整備するには、行政、もしくは地域単独での対応には限界があり、民間事業者との協働が有効であると考えており、三間地区見守り事業所連絡会による活動があり、三間地区社協を中心として町内の新聞配達、牛乳配達、配食事業者、郵便局、銀行やガソリンなど、

外回り業務を行う事業者と駐在所、民生委員など、地域の安全・安心を守る機関が一体となり、郵便、新聞受けや電気の消灯状況を見て、異変があれば自宅の訪問までつなげるという組織です。吉田地区でも吉田町見守りネットワークヨシダマルを39の事業者参画により発足しました。まずは現在実施している取組について、実務者レベルで官民連携事業を検討しながら、市内各所に広げてまいりたいと考えています。

### ふるさと納税について

【質問】

10月、ルール変更改定がされます。地場産品が多い本市は影響も少なく、積極的な推進をすべきだと思つている。本市のふるさと納税の現状について問う。

【答弁：総務企画部長】

令和4年度のふるさと納税の実績について、寄附件数は約1万4,000件、寄附額は約2億4,000万円、前年度と比較して件数は約2,500件、寄附額は約3,700万円の増となっております。

【質問】

返礼品に関して、近年体験型のメニューというのが増えている。宇和島ならではの体験型のふるさと納税の返礼を考えて、納税額を増やしていけばどうか。

【答弁：総務企画部長】

釣り体験については、現在、渡船業者と協議を行っている。ポルダリングにつきましては、近年人気が高まっていますし、本市には恵まれた施設もあることから、今後返礼品にできないか、指定管理者と協議をします。

体験型の返礼品については、木屋旅館や民宿への宿泊やランチペアセットなどがあり、また今月から宇和海の自然を満喫するキャンペーンも追加されていますけれども、現在、さらに地元産品の手づくり体験や自然を生かした遊び体験など、新規返礼品について検討をしているところではあります。

今後体験メニューの充実を図り、ふるさと納税の獲得と交流人口の拡大に努めていきたいと考えています。

### 浄化槽設置事業について

【質問】

浄化槽設置整備事業実施要項及び公共浄化槽等の整備推進事業実施要項の一部が改正をされて、令和8年までの期限措置として、交付率2分の1となる浄化槽整備加速化事業が追加された。この制度変更に対する本市の対応について問う。

【答弁：建設部長】

加速化事業の交付要件を満たすのは困難であると考えています。

補助金額については、愛媛県下ではほぼ同額となっておりますが、他市の今後の動向を注視しながら、本市の景気対策として補助上限額の引上げが妥当であるかも含めて検討したいと考えています。

### その他の質問事項

- ◆不登校オンライン学習支援について
- ◆マイナンバーカードの進捗について
- ◆桐朋学園とのご縁を大切に
- ◆廃校を地域資産に。しっかりと
- ◆伊達博物館建設について